

# 平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市日限山地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

◎ひざり地区は、3,723世帯、8,888名(28.3.31)が居住し、高齢化率は32.9%でした。特に4丁目は高齢化率が42%を超える80坪台の戸建てが多く、居住50年程度の地区です。その為一人暮らし、夫婦二人暮らし、また表面化しにくい子供が無職の40~50歳代親子暮らしの家庭もあります。

・地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会等は複数年間同じ活動者が役割を果たし地域を支えています。

・福祉や防災については独自の工夫をして組織を立上げ各自治会館、日限山小学校コミュニティハウス、地域ケアプラザを利用した高齢者・子育て・障がい児向けの活動も積極的です。

・連合自治会、単位自治会は会長を除き、毎年役員交代が行われているが団結心が強いです。

・防災訓練等に関しては担当自治会が小学校拠点と中学校拠点で分かれて活動しています。

・NPO法人総ぐるみ福祉の会、「さわやか港南」区民活動支援センターランチも地域を支える一端を担っています。

◎丸山台地区は、3,147世帯、7,136名(28.3.31)が居住。中心に市営地下鉄駅と商店街を持っています。

・夏祭りではサッカー、野球等のクラブチームが模擬店を開催、また商店会が歩行者天国を開催、高齢者から子供まで地域行事に参加する活発な側面もみられます。

・自治会館を二館所有しサロン等活動も3か所で行われています。

・駅前マンションでは震災以降、サロンを立ち上げ多い時には、月3度開催しました。また終の棲家となる様、管理組合と話し合いを重ねています。

・両地区とも新しい担い手が見つからない課題もあります。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

・地域ケアプラザの指定管理者の責務として、快適かつ安全にご利用頂ける様配慮し、施設及び設備についても日常の管理・点検を実施致しました。

・手すりの交換、駐車場アスファルト・トイレ引き戸等早めの不具合発見と修繕を行いました。

・休館日の設備定期点検、館内清掃を専門業者による保守点検を行いました。

### イ 効率的な運営への取組について

・電気・ガス・水道等無駄のない運営を心掛け、冷房・暖房の温度設定基準を設け、施設運営を心掛けました。

・貸館空き状況リストを定期的に更新し活用をしました。

#### ウ 苦情受付体制について

苦情に対してはより迅速・誠実な対応が求められるため、苦情受付→苦情対応相談員→苦情対応担当者→苦情解決責任者を設けました。  
こうした取り組みから苦情となる前段階から誤解・行違いの改善を図り、地域にとっての相談窓口としての役割を担いました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・地域の方々と一体となり防犯・防災の体制を持つ関係づくりを行いました。
- ・防犯として：夜間パトロール（町内会、歩こうクラブ、シルバークラブ、地区社会福祉協議会等）の出発・集合拠点として利用して頂き防犯体制を日常的に行えるよう協力を頂きました。
- ・防災に関して：地域拠点避難訓練を特別避難場所としての協働で行うと共に、ケアプラザでの避難訓練に地域の方に参加してもらい相互での協力体制を持って取り組みました。

#### オ 事故防止への取組について

- ・新生児から高齢者まで幅広い年代の方々にご利用頂く施設であることから事故が起こる可能性があるとして常に意識し、施設の点検及びマニュアルの見直しを行いました。
- ・予見可能な事故については未然防止策を講じて回避する様にしました。その工夫として「緊急時対応マニュアル」A4版1枚に作成、貸館利用者でも直ぐに理解出来る様フローチャート化し全ての部屋に設置しました。また防災上の避難経路図も毎回施設利時に渡しています。
- ・調理室の刃物は事務所で管理し、貸館利用団体が使用する際に安全なケースに入れて貸出します。貸出時、返却時に本数の確認をします。
- ・調理室のガスの元栓のスイッチ操作はケアプラザ職員が行います。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・地域ケアプラザは個人情報取り扱い事業者として重大な責任があるため、平素から厳格に適正な個人情報の管理と取扱を徹底しました。

具体的に

- ・FAX 誤送信防止に電話帳登録と複数名確認
- ・郵送物の誤発送防止に複数名確認
- ・パソコンの施錠付管理及び盗難防止ロック
- ・個人情報に関する書類は施錠できる書架に収納し退社
- ・USB等に個人情報データ入力を禁止
- ・データベースアクセス時の個別認識パスワード設定
- ・個人情報無断持ち出し禁止
- ・プライバシーポリシーの作成と周知徹底
- ・個人情報取り扱いマニュアルの徹底

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 公共性の高い施設として各種法令を遵守し、地域に積極的に情報を公開しました。
  - ・ 運営状況等の閲覧
  - ・ 神奈川県介護サービス情報公表センターへの掲載
  - ・ 第三者評価の受審
  - ・ 掲示板や機関誌を用いた運営状況の報告
  - ・ ホームページの活用

#### ク 人権啓発への取組について

- ・ 各種外部研修等を通じて人権意識を高い水準で維持すると共に、市区行政の方針が地域住民に広く啓発出来る様にしました。  
特に近隣中学校から人権学習として高齢者問題（認知症）について地域と専門職種が関係を築き地域で見守ることの大切さを講義と発表で取り組みました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 事業系ごみと資源ごみの分け方を基本に、ごみの分別をしました。
- ・ 環境へ負荷を減らす取り組みとして、移動時は公共交通機関、自転車を主に使用しました。
- ・ 館内の冷暖房温度を、区の推奨温度に設定しました。
- ・ 館内の照明は、省エネ型蛍光灯と LED を使用しています。夜間は安全に配慮した上で廊下等の照明を間引き点灯しました。
- ・ 町内一斉清掃にケアプラザ職員も参加しゴミ拾い、草取り等取り組みを継続しました。
- ・ 印刷物は可能な限り裏紙を使用しました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士 各1名

#### 《目標》

対象者と共に生活を見直しながら目指すことができる生活について話し合い、それに向けての課題を抽出していきました。また、対象者が主体的かつ意欲的に取り組める目標を設定し、適切な時期にモニタリングや評価を実施しました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

関係機関と密に連携を図りながら、対象者に応じた適切なプランを作成致しました。インフォーマルサービスや地域資源を十分活用していけるよう、情報提供及びプランへの位置づけ、活動のきっかけづくりの支援など、積極的な取り組みを行いました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	101	78	70	72	66
10月	11月	12月	1月	2月	3月
57	52	46	41	47	44

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1人  
ケアマネジャー 4人

《目標》

介護保険法令及び関係法令の遵守を念頭に公正中立なサービスを提供し、常にご利用者様とご家族の目線に合わせて、適宜にニーズに応じた保健・医療・福祉等の社会資源をマネジメントいたしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域福祉の拠点であるケアプラザの居宅支援事業所として、充実した地域ネットワークの構築にも尽力し、関係行政機関、地域包括支援センターとの連携も積極的に展開し良質な居宅サービス計画を作成いたしました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 □	5月	6月	7月	8月	9月
105	104	104	107	109	116
10月	11月	12月	1月	2月	3月
113	112	112	113	114	112

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

- ・幅広い分野の相談に情報提供できるよう、制度施策等各種ガイドブックを整備し対応しました。
- ・地域活動情報誌「参加しませんか」にケアプラザ貸館団体情報も掲載し、更新作業を行いました。閲覧のみだったが配布も出来るように準備致しました。
- ・外掲示板で随時自主事業のPRを行いました。  
サロンや地域の会議へ参加する際にケアプラザ通信や自主事業等のPRを行いました。
- ・季節行事に合わせた装飾を行い、来館しやすい雰囲気づくりに努め、世代を問わず相談できる環境を整えました。（七夕、ハロウィン、クリスマスなど）  
また、館内に図書コーナーや塗り絵コーナーを設け情報ラウンジの有効活用を図りました。
- ・地区社協などの会議、地域の活動（夏祭り・丸山台商店会いちょう坂ハロウィン・ふれあいコンサートなど）に参加しケアプラザの機能を周知致しました。
- ・来館者へのコミュニケーションは随時の挨拶の他、貸館点検等で行いケアプラザのPRを行いました。
- ・赤ちゃん教室や子育てひろばからの相談対応を行いました。
- ・障がい分野は、港南区自立支援協議会が主催する啓発部会へ参加し地域への障がい理解への啓発活動に参加しました。併せて障がい分野の相談を繋げることが出来ました。
- ・要介護の親と暮らす障がいグレーゾーンの未就労の子に対し港南区基幹相談支援センターと連携し対応しました。
- ・包括が受けた高齢者の相談内容の分析から事業の立ち上げを行いました。
  - ①ふらり～カフェ（障がい者・子育て親子・認知症・高齢者誰もが参加できるカフェ）
  - ②あい基で将（地域の居場所）

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ・地域包括支援センターで受けた高齢者の初回相談の相談票を地域包括支援センター・地域交流の両部門で回覧し情報共有を行い、内容の分析から自主事業を立ち上げました。
- ・地域サロンへ包括・地域交流・生活支援コーディネーターの三部門が輪番で参加し課題抽出及び支援を行いました。
- ・地域交流が把握している情報を地域活動情報誌「参加しませんか」などを使用し、地域包括支援センターとの連携を図りました。
- ・障がい児余暇活動支援事業「ドルフィン」や青少年指導員主催の「もうすぐ夏休み！ひぎりの1年生集まれ！」を三部門で協力して取り組ました。
- ・日常的な情報共有は随時小会議を行いました。

### 3 職員体制・育成

- ・神奈川県福祉研究大会での発表。
- ・欠員無く適切な職員配置による運営が出来ました。
- ・各種研修へ参加し、その都度研修内容をフィードバックして共有する事が出来ました。
- ・ケアプラザ会議（所長+5職種+居介支）を毎月開催し情報共有しました。  
また、必要時にはその都度報告会を設けました。
- ・災害時及び救急対応時の役割を明確にし防災訓練にも反映しました。  
貸館団体からの救急対応依頼時にも迅速な対応が取れた。またこの時の振り返りを元に今後の緊急時対応について発展的な検討を行うことが出来ました。
- ・非常勤職員向けに定期的に内部研修を行いました。（リスクマネジメント、マナー、感染症対策など）

#### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ・ひぎり連合自治会、日限山自治会、港南プラザ自治会、西洗自治会、ひぎり地区社協理事會、ひぎり民生児童委員会、ひぎりネットワーク会議等の定例会に出席しました。
- ・ひぎり福祉保健計画地域づくりフォーラム参加しました。
- ・ひぎり地区福祉保健計画5部門部会を立ち上げ各部会の事務局として運営を支えました。
- ・永野地区民生児童委員会、丸山台自治会定例会、永野地区くじら計画推進会議等出席しました。
- ・永野地区全体会議（第3期くじら計画）参加しました。
- ・各エリア支援チーム会議（旧エリアミーティング）を開催しました。
- ・ひぎり地区社会福祉協議会わくわく祭りにおいて登録団体への協力を募りボランティア参加を促しました。

#### 5 区行政との協働

- ・個別相談業務として区の高齢障害支援課と包括職員で毎月、カンファレンスを実施し、情報共有、検討、役割分担を図りました。内容に応じて介護保険サービス事業者、民生委員等地域関係者を招き、課題解決に向けた討議を図りました。また区の高齢障害支援担当とは、必要に応じ電話で情報共有し、同行訪問等を行いました。
- ・地域づくりの第3期ひぎり地区地域福祉保健計画には支援チーム会議を行いの実行実現に向けて港南区役所の福祉保健課から高齢障害支援課・子ども家庭支援課まで横の繋がりを持って連携協力体制を持ちました。今後も目的役割を共有しながら区行政と協働を積極的に行います。

### 地域活動交流部門

#### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・日限山地域ケアプラザでの登録団体についてのグループガイドを作成しました。
- ・ひぎり地区地域活動情報誌「参加しませんか」の更新を行いました。新たな活動拠点としてケアプラザを追加し、掲載団体も増え、地域へ新たな情報発信を図りました。
- ・タウンニュースへ定期的に情報発信し、取材を依頼しました。今年度は9月にぐんぐんひろばが掲載されました。
- ・区、区社協からの提供データ（チラシ）は、掲示板を分野ごとに区分けし掲示・配架を行っています。
- ・地域サロンへ地域包括支援センターと輪番で参加し、コミュニケーションを重点的に図り情報収集に努め、ケアプラザ通信「ひだまり」や事業のPRを行いました。
- ・福祉保健活動団体向けの交流会を行いました。

#### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・施設内外の掲示板、地域の掲示板へ定期的に事業チラシを掲示し情報提供を行いました。
- ・貸館空き状況リスト表を作成しました。
- ・夜間の利用として仕事帰りの方をターゲットとした事業（仮）ヨガ教室を計画中です。
- ・廊下の壁面を利用し「廊下ギャラリー」を開催。定期的に入れ替えをし活動の発表の場を提供。興味関心がある方へ情報提供を行いました。

### 3 自主企画事業

- ・地域包括支援センターと共同で誰でも参加出来る月1回の「ふらり～カフェ」の開催。
- ・赤ちゃん教室、子育てひろばでは支援者との情報共有を行い、課題を抽出し施設環境整備を行いました。
- ・ひざり地区社協主催「カフェドリーム」共催。  
継続的に活動が行われるよう支援しています。
- ・ひざり地区社協主催、ひざりたすけ合いネットワーク、消費生活推進員、保健活動推進員協働の「わくわく祭り」開催。ボランティア含め350名参加してくれました。
- ・青少年指導員や食生活推進員、ひざり地区主任児童員と協働し、小学1年生対象事業、ひざり地区在住「もうすぐ夏休み！ひざりの1年生集まれ！」の開催、ボランティアスタッフ含め78名の参加がありました。
- ・児童～高齢者対象「あい基で将！」を生活支援コーディネーターと共同で地域の方のニーズにより開催。登録制で行い小学生～高齢者まで現在49名の登録。特に男性の居場所として有効活用されました。
- ・日限山自治会、包括エリアの丸山台自治会の夏祭りでケアプラザとして出店を行いました。ボランティアとして地域の学生や若い父親の参加あり。延べ約700名が来店。
- ・障がい児夏休み余暇事業「ドルフィン」の開催、ボランティアスタッフ含め延べ331名の参加。
- ・さわやか港南共催「親子で簡単クッキング」の開催。ボランティア含め15名の参加。
- ・未就園児対象「ぐんぐんひろば」開催。地域の方より学べる場の提供をしたいとの声から子育てくらぶ「ぐんぐん」発足。プレ開催時、ボランティアスタッフ含め参加者22名。11月より月1回の活動開始。参加者31名の親子が参加。現在、グループの自立支援継続中です。
- ・60代以上の男性対象とした「男の極み講座」の開催。19名の参加者。講座終了後、グループ立ち上げを行いました。1月～3月の各月でボランティア参加を呼びかけ活動しました。
- ・協力医による「中森先生の本格出汁講座」の開催。参加者11名。
- ・日限山自治会共催「クリスマス会」開催。
- ・貸館登録団体交流会を開催。各団体からケアプラザの利用に対する意見を収集し今後の運営に活かし併せて各団体からPRを行い団体交流を行いました。
- ・未就園児父親向け講座を開催。
- ・ひざり地区社協共催で健康講座を開催。
- ・各種サロンでの出前講座は包括支援センターと協力し行いました。

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・男性の仲間づくりと地域デビューを目的に区社協が行うセカンドライフ大学を兼ね「男の極み講座」を開催。ケアプラザ事業（餅つき、サロン、食事作り等）のボランティアとして育成を開始しました。
- ・「ぐんぐんひろば」へのボランティア勉強会を開催。新たな人材の発掘を行いました。
- ・「わくわく祭り」にて貸館登録団体へボランティア参加の呼びかけを行い29名の参加がありました。
- ・ケアプラザ前の芝刈りを地域へ呼びかけボランティアで活動を行っていただきました。
- ・戸塚区社協より日限山での活動希望の方の受け入れを行いました。
- ・シニアボランティアポイント講座を開催。
- ・たすけ合いネットワーク会議に出席し、ボランティアのニーズを収集し包括支援センターへ繋げました。
- ・福祉保健活動団体等の活動の場として「ふらり～カフェ」を紹介しました。
- ・「パワーアップ活動のチカラ」にて包括支援センターと連携し介護予防ボランティアの育成を行いました。

# 地域包括支援センター

## 1 総合相談・支援

### 総合相談

- ・初回相談は、相談票により包括・地域交流・生活支援で回覧し地域課題を把握し、相談内容の分析から事業の立ち上げを行いました。
  - ① 「ふらり～カフェ」障がい者、子育て親子、認知症、高齢者の誰もが気軽に立ち寄れるカフェ。
  - ② 「あい碁で将」主に地域の居場所作り
- ・包括内では口頭でも引継ぎ、必要な支援の方向性について検討を行い、包括3職種と生活支援コーディネーターで連携し支援しました。必要に応じて訪問し、区役所、港南区基幹相談支援センターなどの専門機関やフォーマル・インフォーマルの情報提供を行いました。
- ・初回相談者等、不安や混乱が見られる場合は安心して相談して頂ける様、平易な言葉づかいで丁寧な伝え方を心掛けました。  
また相談者の真のニーズをアセスメントし、エンパワメントが引き出されるよう支援しました。
- ・定期訪問は、対象者の個別の状況を勘案しながら世帯状況や心身状況を踏まえ、計画的・継続的に行い、必要に応じた内容に繋げました。
- ・サービス等に繋がらず孤立化等で見守りが長期に及んでいるケースは、カンファレンスなどを通じた定期的な関わりの見直しや、アプローチについて検討を行い、ケアプラザの事業への参加や、民生委員と包括で定期的な訪問を図りました。
- ・早急な対応を要する相談で介護認定がされていないケースは、区役所高齢・障害支援課等と連携しながら先行でサービス調整等を行い、担当ケアマネジャーにスムーズに繋がるよう支援しました。
- ・精神疾患による混乱や認知症のある方の相談対応は、高齢障害支援課、港南区はいかい認知症高齢者等 SOS ネットワーク、警察等とも連携を図り、相談者本人・家族、及び近隣者の不安と安全を守れるよう連絡調整しました。
- ・日頃の相談を整理・分析し、地域課題に繋がる相談について地域ケア会議を開催しました。認知症高齢者夫婦と知的障がいの子のいる世帯について、民生委員、自治会副会長等地域のキーパーソンと介護事業者、障がい施設職員、区役所と話し合い、地域包括ケアシステムの必要性を確認できました。現在、成年後見制度の利用支援をすすめています。
- ・要介護の親と暮らす障がいグレーゾーンの未就労の子世帯に対し、港南区基幹相談支援センターと連携し対応をはかっています。
- ・ひまわりホルダーの普及啓発に民児協、シルバークラブ、サロン等で繰り返し説明をしたことで29年3月末で115件の申し込みがあり、内1件が認知症で保護されました。

### 地域包括支援ネットワークの構築

- ・ひざり地区及び永野地区支援チーム会議での情報共有と地区アセスメントによって、地域の理解と課題抽出を行いました。
- ・地域活動情報誌の更新を進める中で、新たな活動情報の収集や、若い世代への地域包括支援センターの周知ができ、地域ネットワークの輪が広がりました。
- ・永野地区の保健活動推進員定例会へ出席し、活動の把握と様々な情報提供、活動支援を行いました。
- ・ひざり地区社会福祉協議会理事を受け、毎回地域会議に参加し情報収集とニーズの把握に努め、地区社協、民生児童委員、自治会長、連合自治会長との連携強化に努めました。
- ・地域福祉保健計画に基づき、定期的に支援チーム会議を区役所と区社協、地域ケアプラザと連携・協働し開催しました。
- ・地域福祉保健計画に基づき、地域主体で行われる地域支え合いネットワーク連絡会（ひ

ぎり地域フォーラム・永野地区全体会議)の開催にあたり、テーマ設定・ワーク方法の考察などの支援をしました。

- ・地域サロンの維持や運営の協力の為、8か所のサロンを支援し、認知症予防や成年後見制度などの出前講座を開催しました。区役所健康づくり係等のネットワークを活用し運営協力を行いました。
- ・丸山台夏祭り、日限山納涼祭にブース出展し福祉の啓蒙と地域ケアプラザの周知を行いました。
- ・丸山台いちょう坂商店会と連携し、ハロウィンフェスティバルでスタンプラリー拠点及び仮装大会に出演しました。その模様が地域カフェ(いちょう坂カフェ)に写真展示され、ケアプラザの周知に繋がりました。
- ・餅つき大会を近隣の施設と協働で開催し、地域の相談窓口としての地域ケアプラザの周知と、世代間交流のきっかけ作りを継続して行いました。
- ・日限山中学校より人権教育講座認知症サポーター養成講座を中学3年生対象に依頼を受け、地区社会福祉協議会・キャラバンメイト・民生委員・区社会福祉協議会・区役所協働でネットワークを活かして開催しました。
- ・JA、キューピー、明治、スポーツクラブメガロスなど福祉に直結した業種以外の企業ともネットワークを構築しました。

## 実態把握

- ・ひぎり地区社会福祉協議会が検討していたアンケートは、地域福祉保健計画の部会の働きかけにより全戸を対象としたアンケートとして発展的に実施しました。
- ・各種統計資料から圏域の情報を収集するほか、日頃の相談業務を統計システムで整理し個別ニーズ、圏域のニーズを数値化し把握・分析し、運営協議会で当地域の特徴や実態を運営協議会委員にフィードバックしました。
- ・認知症家族のつどいを立ち上げ、認知症介護ならではの参加者同士のピアカウンセリングにより日頃の思いを伺い、地域介護者の実態把握に努めました。
- ・担当地域のインフォーマルサービスや課題・ニーズ等の把握を行う為、地区社協・民生児童委員以外にも自治会長、連合町内会長とも連携、情報交換を行い、支援が必要とされる高齢者を把握し個別訪問や地域での見守りへと繋げました。
- ・担当地域のアセスメントを地域支援メンバーと共に進め、地域への理解と課題抽出を行いました。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

- ・近隣の新聞販売店、金融機関、商店との連携は、4月オープン時にケアプラザの広報をもって地域包括支援センターの周知を行い、権利擁護の普及啓発に努めました。金融機関(郵便局)から認知症個別ケースの相談連絡が入り、連携して対応しました。
- ・成年後見制度、権利擁護などについて、わたしの【人生】計画講座(旧シルバーライフデザイン講座)を開催し、第1回目「相続・遺言・後見」第2回目「断捨離」講座を実施し、自分らしく生きるために必要な制度や知識、情報の提供、及び相談会を行いました。
- ・消費者保護の最新情報や知識を踏まえた上で、消費生活推進員と連携しサロンウイングクラブで講座を開き、注意喚起並びに普及啓発に取り組みました。
- ・成年後見制度の普及啓発に丸山台長寿会を対象に寸劇と講和でわかりやすく説明し、普及啓発に取り組みました。
- ・区長申立が必要なケースは適切なアセスメントに基づき、区役所等と相談連携し繋げました。
- ・親族申立支援にあたり、家裁申立て手続きに必要な診断書及び精神鑑定を行う医療機関を紹介し、第三者後見人に繋がりました。

- ・民生児童委員や老人会参加者等とのネットワークを密接にすることで、対象者の早期発見に努めました。

### 高齢者虐待

- ・年金の経済搾取、及び適切な介護サービスがされていないと予測される家族に対しては、区役所、ケアマネジャーと情報共有しアプローチを図りました
- ・虐待、または虐待と疑われる相談・通報に対しては高齢障害支援課、ケアマネジャーと連携、協力して迅速に対応しました。
- ・講座の開催や配布資料等で普及啓発活動を行い、地域での見守り体制の推進を行いました。
- ・長年のセルフネグレクト（ごみ屋敷）にあるケースについて再アプローチを図り、介護サービス利用に一時つながったものの本人の意思で直ぐにサービスが停止となりました。再アプローチを図ったことで、本人にセルフネグレクトの自覚がされました。継続見守り支援中で、ケアプラザの事業に参加したり顔を見せに来てくれる関係です。
- ・社会福祉士分科会主催で港南区ケアマネ連絡会において虐待防止研修を行うと共に、区内の通所介護事業所等を対象とした虐待防止研修の開催を引き続き行いました。

### 認知症

- ・認知症だけではなく、障がい者、子育て親子、高齢者の誰もが気軽に立ち寄れるカフェとして「ふらり～カフェ」を立ち上げました。また担い手もボランティアを募り、地域の中での役割づくりを作ると共に、認知症や障がいへの偏見のない安心な街づくりをめざしました。
- ・地域サロンへの参加や定期訪問を通じて、認知症の疑いがある方を把握し、状況に応じて適切な医療・サービスに繋げる等、早期の対応ができるよう努めた。
- ・日限山中学校3学年と施設体験学習・職業体験学習の中学生、民生児童委員、シルバークラブ、港南区ヘルスマイトにて「認知症サポーター養成講座」と「認知症予防講座」を行いました。
- ・認知症家族の集いを通して、必要に応じた支援が行えるよう体制を整えました。
- ・元気づくりステーション「ゆらり」のサロン開催支援を通して認知症予防と認知症の方の実態把握に取り組みました。
- ・「ひまわりホルダー」利用の声掛けをケアマネ事業所へ訪問・啓蒙しました。また、地域向けにもひまわりホルダーの普及活動を行い、3月末で115名の登録があり、内1名がホルダーで問い合わせがあり保護されました。
- ・総合相談や地域住民・ケアマネジャーへ、港南区はいかい認知症高齢者等SOSネットワークについて周知し、必要な方へは登録への声掛けや支援を行いました。
- ・若年性認知症のつどいを、区内包括社会福祉士分科会協働で2回開催し、次年度に向けての進め方を検討しました。29年度は3回開催予定です。

## 3 介護予防マネジメント

### 介護予防ケアマネジメント力

- ・事業対象者及び要支援者の生活や、個々の目的に応じた目標設定を行うため、本人や家族などからの聞き取りを十分に行い、生活状況・心身状態を含め総合的なアセスメントを実施しました。
- ・委託しているケースについては、ケアマネジャーと密に連携を図り、ケアプラ通信やサロンのチラシを配布するなど、インフォーマルサービスの情報提供や提案、支援困難ケースについては、必要に応じて区役所や関係機関と様々な視点で検討し支援を行いました。

た。

- ・ケアマネジャーに対して、個別の介護予防プラン研修を実施した。また、区域での介護予防支援従事者研修を開催しました。

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・永野地区、ひざり地区の民生児童委員定例会に参加。事業周知や広報活動、支援関係を継続する為の声掛けなど行いました。
- ・シルバークラブ丸山台長寿会へシリーズ講座を行いました。
  - ① 介護保険講座
  - ② 認知症サポーター養成講座
  - ③ 認知症予防講座
  - ④ 権利擁護講座ケアマネジャー、地域包括支援センターの役割、地域包括ケアシステムの意義などを伝えました。
- ・ひまわりホルダーの周知と意義をシルバークラブ、連合自治会、単位自治会、民生児童委員、福祉ネットワーク、家族のつどい、ケアマネ事業所等訪問して周知を行いました。

##### 医療・介護の連携推進支援

- ・「医福ネット港南」医師の代表世話人を筆頭に区役所、地域包括支援センター、訪問リハビリ、訪問看護、訪問介護、ケアマネジャーで世話人会を構成し福祉職と医療職の交流と学びの場の提供を3回行いました。各回100人を超える参加者で、講座・事例検討会の内容以外に事業者間の交流、人脈づくりに役立てました。
- ・「ケアマネサロン」は小人数で、作業療法士、医療相談員等の専門家を招き、直接講師と関係を築ける場となっています。
- ・2回の「地域ケア会議」を通じて、在宅医療相談室との交流の場を設けることが出来ました。
- ・ケアマネジメント新任研修では「認知症疾患医療センター」見学、「在宅医療相談室」の情報提供等を行いました。
- ・受診困難な対象者を支援するためクリニックへ連絡調整し、ケアマネジャーと同行受診しました。また、退院前カンファレンスの設定・同行を行いました。
- ・ケアプラザ施設協力医と担当ケアマネジャーの懇談の場を設け、連携に結び付けることが出来ました。
- ・「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修」への参加により医療職と介護職の連携を図りました。

##### ケアマネジャー支援

- ・広報誌と講座の案内、「ひまわりホルダー」を持ってエリア内事業所を訪問しケアマネジャーから相談などを伺い関係構築に努めました。そこから包括カンファレンスに繋げ共同での支援を行いました。
- ・新任ケアマネジメント講座を通じ、自立支援と個別目標を待たせる視点を強調した講座を開催しました。
- ・新任ケアマネジメント講座後期では、法令や解釈通知等を読み解く学び、民生委員の地域と介護保険制度の関わり、インテーク面接技法、アセスメント思考プロセスからの自立支援、区社会福祉協議会の役割、事例検討会、在宅医療相談室との関わり、虐待、ロールプレイによるサービス担当者会議の開き方等行いました。  
またこの講座から、ケアマネ学習会を立ち上げる事が出来、その後もアドバイザーと

- して区内の主任ケアマネジャーが運営維持支援を継続して行っています。
- ・「ケアマネサロン」では毎月、小人数で専門家を招き、直接講師と関係を築ける場として活用しています。
  - ・ケアマネジャーが担当する利用者と地域に住む民生児童委員を繋ぐツールとして「民生児童委員とケアマネジャーの連携票」の活用推進を講座、研修会の場で行いました。
  - ・港南区ケアマネ連絡会では、支援担当を主任ケアマネ分科会で決め、切れ目ない支援を年間通じて行いました。
  - ・困難事例を抱えるケアマネジャーに対し事例検討研修を行い、多数の視点を持つ大切さ、一人で抱え込まない事を参加者が再認識する場とりました。

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・地域ケア会議個別レベル：副自治会長、担当民生児童委員、近隣住民とサービス事業者、薬剤師等を交えて行いました。地域の役割を検証し見守り等地域力の重要性に気付いてもらうことが出来ました。
- ・地域ケア会議包括レベル：駅前大規模マンションの高齢者サロンを対象に地域ケア会議を行いました。サロンとしての役割の再認識とマンションを終の棲家とする為の取り組みに力を注ぎきっかけとなりました。
- ・シルバークラブ丸山台長寿会へシリーズ講座を行い、ケアマネジャー、地域包括支援センターの役割、地域包括ケアシステムの意義などを周知しました。
- ・ひざり地区地域福祉保健計画
  - ①高齢者部会
  - ②障がい児・者部会
  - ③健康づくり部会
  - ④子ども青少年部会
  - ⑤活性化部会（これらを統括する）
 5部門をサポートする為の事務局を担い、行政等を交えた支援チーム会議（旧エリアミーティング）を行いながら継続支援を行いました。

## 5 介護予防事業

#### 介護予防事業

- ・区役所と協働にて、担当エリアにおける介護予防に関する地区診断を継続して実施し、地域への理解を深め介護予防事業の見直しと、元気づくりステーションの活動継続への支援及び新規ステーションの立ち上げを行いました。
- ・元気づくりステーション「アクティブシニア」では、区役所と連携しながら定期的な会への関わりを通じて、自主的な活動が地域の中で円滑に継続できるよう運営に関する提案を行い、メンバーが役割を持って活動できる支援しました。  
元気づくりステーション「輪笑スリーA」は「元気づくりステーションゆらり」と改称し、新たなボランティアの育成とケアプラザにて月に1回の定期的な認知症予防のサロンの立ち上げを支援した。メンバーが主体的に運営していけるよう、役割分担やサロンの内容など細かな部分の調整や支援を行いました。  
また、地域アセスメントから新たな元気づくりステーション「ルンルン体操」を立ち上げた。メンバー全員が役割を持つことで継続的に運営していける仕組み作りなどについて支援した。これまで関わりを持っていなかった新たな住民の参加も多く、介護予防活動の発展につながりました。
- ・元気づくりステーション交流会では、理学療法士を講師に招き、日々の活動の評価と介護予防について更に知識を深め活動に活かせるよう講座を開催した。また、各グループが互いのメンバーとの交流や情報交換を行いました。
- ・JA 港南支店の場所を借りての医師による認知症予防講座開催、株式会社キューピー・株式会社明治との教室の実施、保健活動推進員・ヘルスマイトなどの地域で活動している様々な機関と協働で、地域で興味や関心の高い運動や栄養に関する講座を開催し

ました。

- ・ 男の極み講座では男性限定のヨガを開催し、地域デビューと介護予防活動のきっかけ作りを行いました。
- ・ ウォーキングに対しても重点的に取り組み、講座の開催・保健活動推進員が開催するイベントの支援や地域住民へ地域で開催されるウォーキングに関連した情報の提供を行いました。
- ・ 老人会や地域の会へ出向き、区役所健康づくり係等とも連携し、運動・栄養・口腔ケア・認知症予防等、様々な内容で介護予防を普及啓発する講座を実施しました。
- ・ 広報誌を活用して、地域包括支援センターで実施する介護予防事業の周知を行いました。
- ・ 地域活動交流と協働で、介護予防に関する地域の担い手の発掘と育成・地域で活動する介護予防に資する活動の継続への支援として、スポーツクラブメガロスに講師に招きボランティア講座を開催しました。
- ・ 永野地区、ひざり地区の保健活動推進員の定例会へ出席し、研修やイベントの支援の他、地域活動及び健康に関する情報の提供を行いました。

## 6 生活支援体制整備事業

- ・ 地域活動団体へ聞き取り調査を行い、地域資源を収集し、地域活動情報誌「参加しませんか」を作成、更新しました。これにより地域・拠点毎にまとめて資源情報の管理・把握が行えました。
- ・ ひざり地区社会福祉協議会が検討していたアンケートは、地域福祉保健計画の部会の働きかけにより全戸を対象としたアンケートとして発展的に実施しました。  
新たなサロンを含め8つの地域サロンに参加協力し、様々な定例会へ参加し住民からの情報を収集・分析をしました。
- ・ 丸山台サロンにて収集した課題（集客問題）に対し既にケアプラザで把握していた情報（障がい施設のパン販売）を提供し相互支援に結び付けました。
- ・ 地域サロンや日限山荘、さわやか港南など訪問し、地域資源を具体的に把握し、サロンマップ作成の準備検討を行いました。
- ・ 地域活動把握のための港南区域でのケアプラザ共通フォームで地域活動情報の整理・管理を行い、他地域との情報共有が可能となりました。

# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：日限山地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	18463	23308	151					5789
	介護保険収入					22739			
	その他	0	4049	0	0	7176			
	介護予防ケアマネジメント費								
	要介護認定調査委託料収入					360			
	委託事業					1268			
	その他の事業収入					60			
	雑収入		64			24			
	サービス区分間繰入金収入		3985			5464			
<b>収入合計(A)</b>	<b>18463</b>	<b>27357</b>	<b>151</b>	<b>0</b>	<b>29915</b>				
支出	人件費	8366	24099			24343			3198
	事務費	2036	1567			1756			
	事業費	154	530	151					9
	管理費	2663	702			76			
	その他	5244	459			2931			
	消費税	669							
	固定資産取得支出		43			717			
	ファイナンス・リース債務返済支出		122			911			
	サービス区分間繰入金支出	4101				1303			
戻入額	474	294							
<b>支出合計(B)</b>	<b>18463</b>	<b>27357</b>	<b>151</b>	<b>0</b>	<b>29106</b>				
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>809</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
認知症・家族のつどい	認知症介護家族	2,292円	3,200円	なし	なし	2,292円	なし
	66名						
	無料						
サロン出前講座	高齢者	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	332名						
	無料						
ひぎり社協「わくわく祭り」	地域	10,000円	10,000円	なし	なし	10,000円	なし
	350名						
	無料						
赤ちゃん教室	0歳児親子	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	317名						
	無料						
子育てひろば	未就園児親子	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	1785名						
	無料						
廊下ギャラリー	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	15名						
	無料						
カフェドリーム	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	234名						
	無料						
ドルフィン	個別支援級	80,000円	72,200円	7,800円	12,249円	56,376円	11,375円
	317名						
	100円						
宿題ルーム	小中学生	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	176名						
	無料						
親子で簡単クッキング	小学生親子	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	16名						
ぐんぐんひろば	乳幼児親子	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	254名						
	無料						
セカンドライフ大学校	60歳以上男性	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	88名						

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ひぎりの1年生あつまれ！	小学1年生	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	78名						
あい碁で将！	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	256名 無料						
ふらり～カフェ	地域	33,580円	14,000円	22,900円	なし	33,580円	なし
	449名(大人229名) 100円(大人のみ)						
認知症予防講座	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	134名 無料						
若年性認知症港南区の集い みなとみな	若年性認知症者と家族	28,000円	20,000円	8,000円	12,000円	16,000円	なし
	99名 200円						
男の極み講座	60歳以上男性	50000円	10000円	40000円	32000円	17000円	1000円
	130名 2000円						
わたしの「人生」計画	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	84名 無料						
クリスマス会	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	218名 無料						
出汁の旨味で減塩に 中森 内科クリニック「中森先生の 本格出汁講座」	地域	なし	なし	なし	なし	4,000円	なし
	13名 無料						
餅つき大会	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	150名 無料						
貸館利用団体交流会		13,668円	なし	なし	なし	13,668円	なし
	50名 無料						
PapaCoスクール	父親	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	33名 無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症・家族のつどい	認知症の家族を介護している方の孤立化防止、虐待防止	毎月第1金：全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン出前講座	介護予防、認知症予防、地域づくり支援	毎月2回・全23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひざり社協「わくわく祭り」	ひざり地区社協協力ボランティアへの感謝と社協の歩みとこれからの紹介、新たな人材発掘そして、新設日限山地域ケアプラザの周知	6月開催・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
赤ちゃん教室	初めての赤ちゃん(0歳児)の保護者向け相談交流会等	毎月水曜・1回：全10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てひろば	未就園児対象。親子の交流サロン	毎週金曜・1回：全47回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
廊下ギャラリー	地域に開かれた発表の場の提供。ケアプラザのPR	随時

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェドリーム	地域の憩いの場	毎月第3木曜 ・1回：全8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドルフィン	日限山中学校区の個別支援級に通う子供たちの夏休み余暇支援	夏休み開催 ・全6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
宿題ルーム	児童・生徒の放課後の居場所づくり	週3回：全56回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で簡単クッキング	ケアプラザのPR	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ぐんぐんひろば	地域で親子の学べる場の提供	月1回：全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
セカンドライフ 大学校	定年後の男性が地域デビューをするための支援	全7回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひぎりの1年生あつまれ!	日限山1丁目2丁目に子ども会がないため、新1年生のために歓迎会を行うため。ケアプラザのPR	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あい碁で将!	高齢者の居場所作り が多く、既存のグループに途中加入するのをためらう方向けに開催 要望	全20回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふらり～カフェ	認知症高齢者、障がい者、子育て世代の親子など地域の方が誰もが気軽に集えるカフェの開催により多世代交流・地域の顔見知りを増やし、災害時の助け合い、声掛け合いができる地域づくりを目指す。	毎月第1金 : 全8回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症予防講座	認知症予防の普及啓発	随時・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
若年性認知症港南区の集いみなとみな	若年性認知症の家族と当事者の支援	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の極み講座	男性の地域の仲間づくり	8回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わたしの「人生」計画	権利擁護	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス会	地域の子ども達の余暇活動	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出汁の旨味で減塩に 中森内科クリニック「中森先生の本格出汁講座」	地域の食生活での健康知識の向上を目指す。	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
餅つき大会	日本の伝統行事を体験することで子どもから大人までの繋がりをもつ。	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸館利用団体交流会	貸館登録団体同士の繋がりができ、お互いの活動に興味関心をもてるように目指す。	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
PapaCoスクール	父親同士の仲間作り、育児参加へのきっかけ作り	1回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	ボランティア活動推進のため	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知りたい、成長段階における「発達障害」について	障がい理解啓発活動	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わたしの「人生」計画	権利擁護	2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容等	実施時期・回数